

---

## 平成17年度 第2回理事会報告

---

- ・開催日時 平成17年7月21日(木) 17時30分~20時00分
- ・開催場所 八重洲倶楽部 第7会議室
- ・出席者 能勢、小田部、小田、島田、石井、今井、高橋、野々山、松岡(公)、山下、浅井、石原、  
飢富、下左近、中西、西山、倍、林、松丸、村田、椎原、監事 三藤 (敬称略)
- ・報告事項
  1. 第1回理事会の議事録の確認(椎原)  
配付された議事録を確認し承認された。
  2. 理事・評議員・各種委員会委員・顧問への委嘱状況について(事務局)  
すべての役員の委嘱が完了した旨が報告された。
  3. 経済学会連合の総会について(能勢)  
総会にて新役員の選挙があり、当学会からは飢富理事と賞会員が理事として選出された旨の報告があった。
- ・審議事項
  1. 平成17年度春の研究発表大会(第34回大会)の報告について(倍)  
配付資料の通り報告があり、研究発表55件、参加者数118名であった。剰余金48,012円が学会に寄付された旨の報告があった。
  2. 平成17年度秋の研究発表大会(第35回大会)の開催について(浅井)  
配布資料に基づき、大会の計画が説明され承認された。発表の申し込みは7月29日発行のJAMSニュースに掲載される予定である。またコメントータの設置等については、主催校に一任することになった。理事会は大会実行委員会の決定に協力することが確認された。
  3. 来年度以降の大会の開催について(松丸)  
平成18年度春は東海大学短期大学部(高輪)で、秋は大阪で開催する計画である。平成19年度については、秋に福岡中村学園から打診があったことが報告された。
  4. 学生表彰について(石原)  
配布資料の通り原案が提出された。表彰の時期・形式、対象となる会員の種別などについて議論がなされた。その結果、この秋の大会から導入することは承認された。運用方法の詳細については、表彰委員会検討し理事にメールで事前に承認を得ることになった。  
賛助会員等の表彰については、継続審議となった。
  5. 中部支部の設立について(小田)  
配布資料通り案が提出され承認された。経費が必要な場合には、予備費を利用することが承認されたが、できるだけ本部から発送するタイミングをあわせて発送することも検討するよう要望が出された。
  6. パンフレットの改定と会員名簿の発行について(林)  
パンフレットの活用と改定については、配布資料の通り説明があり承認された。予備費に余裕があれば、あたらしいパンフレットを今年度中に印刷することが承認された。また本日出席の理事には、パンフレット5部ずつを持ち帰り、学会の広報に利用することになった。  
名簿の発行についても配布資料の通り説明があり、ケース2に基づいて発行することが承認された。個人情報保護法等に委縮せず、正常な運用を目指すことが確認された。
  7. 他学会への協賛について(椎原)  
回覧された6団体からの依頼について、すべて協賛することが承認された。  
また、独立行政法人科学技術振興機構から大会講演論文集の継続した寄贈の依頼があり承諾することが確認された。
  8. 会員の入退会について(椎原)  
配布資料の通り説明され、承認された。
  9. 日本経営システム学会会則について(高橋)  
選挙制度の問題点として、会長・常任理事の連続2期上限が指摘された。また、総会の定足数についても問題点が指摘された。これらの点に関して意見のある方は、高橋先生もしくは事務局にメールで連絡することになった。その後、規定委員会にて修正案を提示し、必要があれば次の総会で承認を得ることが確認された。